



近藤じゅん子通信 vol.24

区議会公明党の様々な提案が令和5年度予算に反映！

**がん患者への医療用ウィッグの助成を提案！
補聴器助成の拡充を強く要望！**

第1回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和5年2月22日(趣意)

学校建替事業

未来の学校プロジェクトについて

質問 これまで学校は地元地域の方々の力にも支えられ、各校の歴史が刻まれてきたと思います。そこで「未来の学校」には、地域に開かれた形で、今日まで各学校が歩んできた歴史を保存し、閲覧できる資料室の設置を提案します。

答弁 (区長) 学校の歴史は、その地域の歴史でもあります。これまでの学校の歴史や記録を保存していくことは意義があり、必要であると認識しています。

保存や展示については、「未来の学校」にふさわしいデジタルアーカイブの技術を使った保存や展示も検討したいと考えています。例えば、解体してしまう旧校舎の3D画像や、高解像度サイネージによる色褪せないデジタル映像の保存など、最新技術を取り入れた方法を検討してまいります。



福祉

デジタルデバイス解消について

質問 我が会派が提案した「デジタルデバイス解消事業」もスマホの無償貸与とスマホ教室の事業からスタートし、昨年はデジタル活用支援員の拡充、また各地域にデジタル活用支援員の派遣、そして庁舎3階マイナビカードの申請窓口にも支援員の配置をしていただきました。

高齢者の方からは「支援員の方に丁寧に対応をいただき、安心しました。」と感謝の声もたくさん頂いています。今後デジタル活用支援員の活躍の場を拡大していただきたいと思います。

例えば「ハチペイ」など、今後も展開されるキャンペーンにもサポートしていただく等、様々なシーンで更なる活躍の場を検討していただきたいと思います。区長のご所見を伺います。

補聴器助成の拡充について

質問

渋谷区では、聴力機能の低下に伴い円滑なコミュニケーションを図ることが難しい高齢者が、管理医療機器として認定された補聴器を購入した場合に補聴器の一部助成を行っています。対象については住民税非課税者だけでなく、所得制限なしの全員を対象に幅広い支援が必要だと思えます。

また高額なものも多いため、現在の35000円では十分な補助になっていないのが現状です。15000円増額し、50000円へ拡充を提案します。

答弁 (区長) 更なる利用促進につながるよう、活用状況等の分析を進め、補聴器の効果や有用性と併せて周知を図りながら、対象者や補助額の見直しを含め検討してまいります。



健康

医療用ウィッグの助成について

質問 がん患者は治療の影響で、脱毛など、さまざまな外見の変化を体験しています。

外見が変化したことでも人からどう思われるか不安になることがあります。

がん治療の方がより良い療養生活が送れるよう、ウィッグ(かつり)や帽子の購入費用の助成を提案します。

答弁 (区長) がん治療であっても自分らしく日常生活を送れるよう、外見の変化に対するケアの必要性は重要であり、その一環としてウィッグ等の助成は有効な手段と考えます。

他自治体の先行事例も参考に、本区での導入について検討を始めたいと思います。

生活

プレミアムデジタル商品券について

質問 長期にわたり物価高騰が続く中、今後、第二弾のプレミアムデジタル商品券の発行を期待します。ご所見を伺います。

答弁 (区長) 現在実施している「ハチペイ」のキャンペーンの効果も踏まえ、今後検討してまいります。毎日のお買い物で